

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第34回 3部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-19-11 グランデール溝の口502号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第 34 回 第 3 部

2019 年 2 月 22 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったのでその議事録要旨を作成する。

【議題】

熊本リハビリテーション病院 様

「変形性膝関節症に対する脂肪組織由来再生幹細胞(ADRCs)を用いた細胞治療」

第1 審議対象及び審議出席者

1 日時場所

日 時：2018 年 2 月 15 日（金曜日）第 3 部 20：15～20：30

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-17-3 渋谷東宝ビル

2 出席者

出席者：内田委員、寺尾委員、高橋委員、角田委員、井上委員、山下委員
奥田委員、中村委員

欠席者：佐藤委員、辻委員、菅原委員、栃原委員、坂口委員

申請者：病院長 井上 宏治 先生

申請施設からの参加者：名誉院長 整形外科・リハビリテーション科 古閑 博明先生
形成外科部長 吉川 厚重先生
再生医療センター 事務担当 山中 一雄様

陪席者：(事務局) 坂口雄治、木下祐子

3 技術専門委員 寺尾 友宏先生（当委員会委員）

（厚生労働省令第百十号 第 63 条の「第四十四条第二号又は第三号に掲げる者が、審査等業務の対象となる再生医療等の対象疾患等に対する専門知識を有する場合には、当該者」である）

4 配付資料

資料受領日時 2019 年 1 月 7 日

(本審査資料)

- ・再生医療提供計画

「審査項目:変形性膝関節症に対する脂肪組織由来再生幹細胞(ADRCs)を用いた細胞治療」

- ・再生医療等提供基準チェックリスト

(事前配布資料)

- ・再生医療等提供計画書(様式第1)
- ・再生医療等の内容を出来る限り平易な限り表現を用いて記載したもの
- ・提供施設内承認通知書類
- ・提供する再生医療等の詳細を記した書類
- ・略歴及び実績
- ・説明文書・同意文書
- ・特定細胞加工物概要書
- ・特定細胞加工物標準書
- ・品質リスクマネジメントに関する書類
- ・個人情報取扱実施管理規定
- ・国内外の実施状況
- ・研究を記載した書類
- ・特定細胞施設基準書
- ・特定細胞施設手順書
- ・細胞培養加工施設の構造設備チェックリスト
- ・特定細胞加工物製造届書

(会議資料)

- ・再生医療等提供基準チェックリスト
- ・再生医療等提供計画書(様式第1)

第2 審議進行の確認

1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則(平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号)第六十三条の規定する開催要件は次のとおり。

- | | |
|---|---|
| 一 | 過半数の委員が出席していること。 |
| 二 | 男性及び女性の委員がそれぞれ二名以上出席していること。 |
| 三 | 次に掲げる者がそれぞれ一名以上出席していること。 |
| イ | 第四十四条第二号に掲げる者 |
| ロ | 第四十四条第四号に掲げる者 |
| ハ | 第四十四条第五号又は第六号に掲げる者 |
| ニ | 第四十四条第八号に掲げる者 |
| ホ | 技術専門委員(審査等業務の対象となる再生医療等の対象疾患等に対する専門的知識を有する者をい |

う。以下同じ。) (第四十四条第二号又は第三号に掲げる者が、審査等業務の対象となる再生医療等の対象疾患等に対する専門知識を有する場合には、当該者)

四 出席した委員の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有するものを含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。

五 認定委員会設置者と利害関係を有しない委員が含まれていること。

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

今回審査を行う申請者と技術専門員を紹介した。続いて、申請者に各委員の紹介をした。

2 副委員長奥田委員から再生医療等提供基準チェックリストを項目別に読み上げるよう事務局の坂口雄治に依頼し、同時に各委員には随時疑問点があれば挙手にて質問し、確認を求めて進めて行き、個別の質問には古閑先生、吉川先生、山中様が答える形式で進めるように説明があった。

3 副委員長奥田委員が進行をする事とした。

第3 厚労省の再生医療提供基準チェックリストにもとづく審議及びそれ以外の質疑応答

1 【問】寺尾委員より、脂肪由来再生幹細胞を使用した治療を行ったことがある先生はいますかとの質問があった。

【答】古閑先生より、おりませんとの回答があった。

【問】寺尾委員より、細胞を使った治療は独特の症状があらわれたりします。この再生医療についての情報収集はどのように行いますかとの質問があった。

【答】古閑先生より、大阪の愛仁会を知っているので一度研修に行こうとは思っていますとの回答があった。

【意見】寺尾委員より、細胞を使った治療は変化にバラつきがあったり、レントゲンでK-L分類で反応してくれなかったりするのので、経験豊富な方から情報収集をしっかりとして下さいとの意見があった。

上記の質疑応答の他、厚労省の再生医療等提供基準チェックリストに従った審査も行い全ての審議が終了した。この間、委員の構成に変更はなかった。

第4 判定

熊本リハビリテーション病院 様

「変形性膝関節症に対する脂肪組織由来再生幹細胞(ADRCs)を用いた細胞治療」

1. 各委員の意見

(1) 承認 8名

(2) 条件付き承認 0名

(3) 非承認 0名

2. 委員会の判定

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等に用いられる再生医療等技術の安全性の確保および生命倫理への配慮がなされ、再生医療提供者が講ずべき措置を行うものと判断する。同時に再生医療等の安全性の確保等に関する法律および施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。

以上に鑑み、今回審査した計画について「承認」と判定する。

以上